市民公開講演会

「戦後事件史から見た世相の変遷」

講師　坂井　一郎氏

（元広島高検検事長、現マツダ社外取締役）

戦後日本を揺るがした著名な凶悪事件・公安事件・特捜事件の数々を検察の立場から振り返り、これらを通じて見られる世相の変遷を検証する。また、近年、批判が高まっている特捜部や検察の現状について、その背景や今後の方向性を展望する。

最近導入された裁判員制度などを例に、日本と西欧との司法制度の違いについても解説する。

１１月２８日（水）午後５時から約１時間半

（開場　午後４時半）

ＡＮＡクラウンプラザホテル広島

（広島市中区中町）３階オーキッドの間

入場無料　　どなたでも参加できます

広島京大会主催・京都大学共催

問い合わせ　広島京大会事務局TEL０８２（２４７）９３４１（岡野）

坂井一郎氏（さかい・いちろう）１９６６年、京都大法学部卒。６８年、検事に任官、最高検検事、那覇地検検事正などを経て、９７年１２月、法務省矯正局長。９９年１２月、横浜地検検事正。２００１年５月、法務省法務総合研究所長。０２年１０月、広島高検検事長。０４年６月、福岡高検検事長。０５年３月退任し、４月に弁護士登録。特捜部では大企業における特別背任罪の捜査、公安部では昭和天皇の崩御に伴う警備・公安事件の処理に携わった。東レ（０９年６月まで）とキューピーの監査役。マツダ社外取締役。北九州市出身。

会場の地図　　ANA クラウンプラザホテル広島